

|      |                   |      |    |      |   |      |      |
|------|-------------------|------|----|------|---|------|------|
| 科目名  | 人文学講読演習IV 1 2 - 1 |      |    |      |   | 単位   | 2.0  |
| 担当教員 | 李 恩郷              |      |    |      |   |      |      |
| 授業形態 | 演習                | 開講期間 | 後期 | 配当年次 | 2 | 授業番号 | 1417 |

●授業のテーマ  
文化の型

●到達目標  
「文化」について考える力と方法を身につける。

●学習内容(授業概要)

文化人類学の代表作の一つである「菊と刀」を熟読しながら、数十年前の日本の文化について学ぶ。アメリカの文化人類学者の目に映った戦前及び戦後の日本の文化と現在の日本の文化の違いを比較することで、日本文化の変遷をたどることを目指す。

●学習内容(授業計画)

1. ガイダンス
2. 第八章 汚名をすすぐ
3. 第九章 人情の領域
4. アラブ世界は「ヒロシマ」をどう理解したか
5. 第十章 徳のディレンマ
6. メディアが煽る「反日感情」
7. 中国は日本をどう見ているか
8. 第十一章 修養
9. 第十二章 子供は学ぶ
10. 近代日本の家族形態
11. 第十三章 降伏後の日本人
12. 韓国の新世代が主導する「新しい反日」
13. 日本の文化の型について
14. 日本の昔と今
15. まとめ

●準備学習・事後学習の内容

毎回の授業の最後には、小論文を提出してもらおうが、成績の一部として評価する。

●成績評価方法・基準

小論文 70%、レポート 30%

●テキスト(必携)

『菊と刀 日本文化の型』ルース・ベネディクト著 越智敏之・越智道雄訳 平凡社 1913.8.9

●参考文献／その他

『日本はどう報じられているか』編著者 石澤靖治 新潮社  
そのほか、適宜提示する。

●履修上の注意

出席及び積極的に討論に参加することを評価の最大基準とする。  
通年の授業だが、後期からの参加も可能です。